

1. 総人口・年齢構成

(1) 推計方法

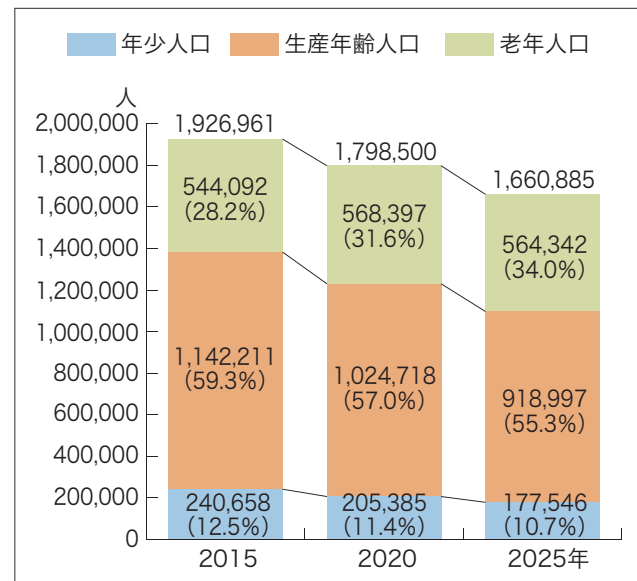
本章では、福島県の総人口および年齢構成について、「コーホート変化率法」により試算した。「コーホート」とは、同じ年または同じ時期に生まれた人々の集団を指し、「コーホート変化率法」とは、過去の人口動向から、各コーホートの変化率を求め、この変化率は将来も大きく変化しないものと仮定して、将来人口を推計する方法である。なお、詳細は、後述する「詳細推計方法」をご確認願いたい。

(2) 推計結果

① 福島県人口

2025年の福島県人口は1,660,885人と推計され、2015年と比較して27万人ほど減少するものとみられる(図表1-1)。また、2025年の年齢3区分別人口をみると、年少人口(0~14歳)が177,546人(構成比10.7%)、生産年齢人口(15~64歳)が918,997人(同55.3%)、老年人口(65歳以上)が564,342人(同34.0%)と推計される。さらに、2015年と比較すると、年少人口が△63,112人(構成比△1.8ポイント)、生産年齢人口が△223,214人(同△4.0ポイント)、老年人口が+20,250人(同+5.8ポイント)となり、少子高齢化が進展するものとみられる。

図表1-1 福島県の人口推計



資料：福島県「福島県現住人口調査」
注：2010年と2015年の人口を基にコーホート変化率法により推計。
カッコ内の数値は構成比。

ただし、2025年の老年人口を2020年と比較してみると、構成比は2.4ポイント上昇するものの、人口は4,055人減少することが予想され、今後10年以内に老年人口も減少に転じるものとみられる。

以上のことから、2025年の福島県人口は、年齢3区分別人口がすべて減少することにより、総人口が減少するとともに、県民の3人に1人が65歳以上となる高齢化の進展が予想される。

なお、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」によると、福島県の人口は、2015年が1,912,609人、2020年が1,873,538人、2025年が1,780,166人と試算され、当研究

所の推計結果と異なっている。このため、推計結果が異なっている要因をまとめてみると、以下の通りとなる(図表1-2)。

図表1-2 「国立社会保障・人口問題研究所」人口推計との相違点

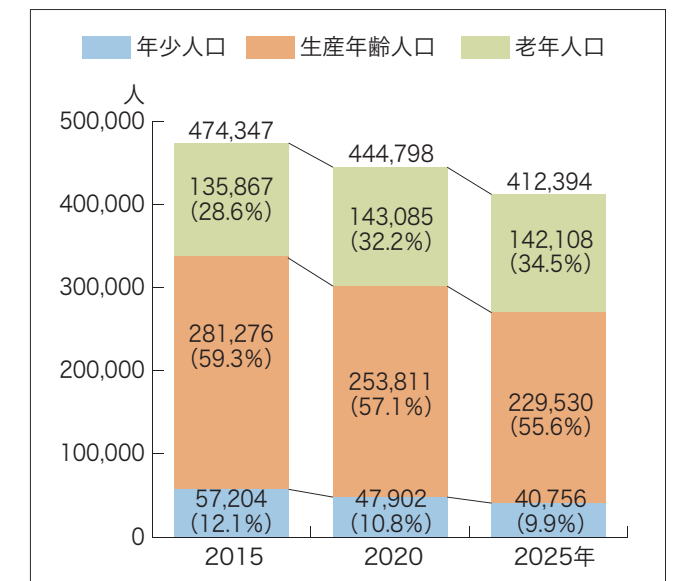
	推計手法	推計基礎データ	推計基準年	県外避難者の試算
当研究所	コーホート変化率法	住民基本台帳人口	2010年と2015年の比較	住民票の移動があれば、推計結果に反映
国立社会保障・人口問題研究所	コーホート要因法	国勢調査人口	2005年と2010年の比較	2015年から2020年の間に全員帰還と試算

② 7方部人口

1) 県北方部

2025年における県北方部の人口は412,394人と推計され、2015年と比較して6万人ほど減少するものとみられる(図表1-3)。また、2025年の年齢3区分別人口をみると、年少人口が40,756人(構成比9.9%)、生産年齢人口が229,530人(同55.6%)、老年人口が142,108人(同34.5%)と推計される。さらに、2015年と比較すると、年少人口が△16,448人(構成比△2.2ポイント)、生産年齢人口が△51,746人(同△3.7ポイント)、老年人口が+6,241人(同+5.9ポイント)となる。

図表1-3 県北方部の人口推計



資料：福島県「福島県現住人口調査」
注：2010年と2015年の人口を基にコーホート変化率法により推計。
カッコ内の数値は構成比。